

京成本線荒川橋梁架替事業

国交省では、令和3年12月に荒川水系河川整備計画フォローアップ委員会が実施され、本事業の再評価が行われました。令和4年度から工事が予定されている本事業は、地域の意向等をふまえ、用地取得が少なくなるよう架替ルートが変更されました。これに伴い、事業費が364億円から730億円に、完成予定が令和6年度から令和19年度に変更される見込みとのことです。

会議に関する資料は、国交省のWebサイトで公表されています。

右QRコード：関東地方整備局 Web サイトで公開中の「(再評価) 荒川下流 特定構造物改築事業 (京成本線荒川橋梁架替) 令和3年12月1日」(PDF)のURL (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000817462.pdf) から堀切地区まちづくり推進協議会が作成。



工事車両搬入のために拡幅された坂路



線路脇に設置されたパラペット (2/21 当協議会が撮影)

堀切二丁目周辺及び四丁目地区 密集事業の進捗状況

堀切二丁目周辺および堀切四丁目地区では、令和7年3月までの予定で実施されている密集事業により、公園や道路などの公共施設の整備、建て替え支援によるまちづくりが進められています。

幅員6mへの拡幅路線のうち、主要生活道路5号線は、現在6mへの拡幅整備が進んでいます(下写真参照)。主要生活道路1号線・3号線は、拡幅整備にむけて用地測量の準備を進めており、令和5年度4月頃には、主要生活道路1号線沿線の権利者に向けた事業説明会を予定しています。また、主要生活道路4号線は、無電柱化に向けて引き続き検討調査を進めています。



上写真と右写真：6mに拡幅された主要生活5号線の同じ場所を二方向から(2/21 当協議会が撮影)
拡幅範囲

道幅が6mに広がりました

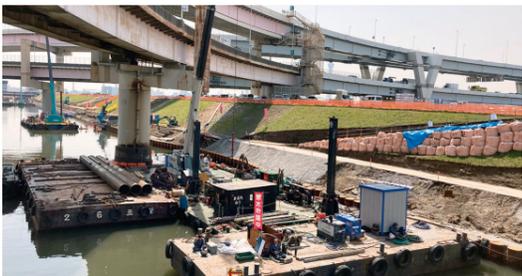


～ 地域の話題 ～

堀切地区護岸改築工事

国交省による、綾瀬川の護岸を新しくするための改築工事が進められています(右写真参照)。

大規模な地震にも耐えきれよう強くなるそうです。洪水被害から、堀切の街を守ってくれることを期待します。



綾瀬川護岸改築工事の様子(3/25 当協議会が撮影)

堀切地区まちづくりニュース 【編集・発行】堀切地区まちづくり推進協議会 事務局

堀切地区のまちづくり情報については、区 Web サイトでも公開中！

トップページ→くらしのガイド(まちづくり)→地域街づくり→橋梁架け替えをきっかけとした街づくり→堀切地区の街づくり

～堀切地区のまちづくりに関しては、下記連絡先にお問い合わせ下さい～

葛飾区 都市計画課 密集地域整備第三係
代表：03-3695-1111 (内線 3483) 直通：03-5654-8599

「堀切地区の街づくり」
リンクQR→
- 葛飾区役所Webサイト



堀切地区 まちづくりニュース

第39号【令和4年4月】



堀切地区の皆さんに配布しています 【編集・発行】堀切地区まちづくり推進協議会 事務局

第26回堀切地区まちづくり推進協議会(全体会)開催

3月28日(月)に堀切地区センターにて開催された、堀切地区まちづくり推進協議会(全体会)では、日々の活動成果の報告や、今後の活動体制の説明が行われました。

当日の内容についてご紹介いたします。



全体会の様子(区職員も含め26名が参加)

「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」を提出しました

堀切地区まちづくり推進協議会がまとめた「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」が、区に提出されました(右写真参照)。この構想をまとめるにあたり、まちづくりニュース38号掲載の「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想(素案)」への意見をふまえ、修正をしています。

提出された「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」をもとに、今後は区とまちづくり推進協議会で協働し、駅周辺のまちづくりの実現に取り組みます。



当協議会会長(左)から葛飾区都市整備部長(右)へ提出

堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想の詳細は中面(P2～P3)をご覧ください▶

堀切地区まちづくり推進協議会の今後の活動体制

「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」の提出により、平成27年度から開始した駅周辺整備の検討が区切りを迎えました。今後は京成本線荒川橋梁架替事業や密集事業などのまちづくりの進捗について、区との情報共有・意見交換が重要になると考えています。

そこで、令和4年度以降は、事務局を区に担っていただくとともに、自治町会や商店会から構成する調整会を設置するなど、新たな体制へ移行します。

優秀まちづくり賞の受賞を報告しました

全国の都市や地域で住民主体や多様な主体の協働で実践されている優れた活動を表彰する「全国まちづくり会議2019in東京」にて、堀切地区まちづくり推進協議会が「優秀まちづくり賞」を受賞したことを報告しました。副賞として得た賞金3万円は、堀切地区のよりよいまちづくりのため、堀切かつしか菖蒲まつり運営協議会に寄付します。

葛飾区都市整備部長のあいさつ

事務局の皆様につきましては、約7年間、戦略(案)や駅周辺まちづくり構想のとりまとめなどにご尽力いただき、感謝申し上げます。区としては地域の皆様の総意と重く受け止め、令和4年度からは密集事業の拡大に向けた検討を進め、川の手通りの歩行環境改善についても、引き続き、家屋の調査や権利者との協議を進めてまいります。

京成本線荒川橋梁架替の工事期間については、令和4年度から令和19年度と国から発表され、完成まで時間がかかりますが、その間区としましては、今年度設置されたパラペットや、大型水のうと止水板を使用する現地訓練を実施するなど、しっかり水防活動を行ってまいります。



～堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想をご紹介します！～

協議会員や商店会の皆様からのご意見をふまえて修正を行い、堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想をまとめました。本号では、概要と変更内容をご紹介します。

堀切駅周辺まちづくり構想(素案)からの修正点



構想公開HPリンクQR↑
-葛飾区役所Webサイト



第25回堀切地区全体会にていただいたご意見をふまえ、以下の修正を行いました。

- 主なまちづくりの取り組みに、事業No.を追加しました。
- ⑦南北水路の修景整備に、説明文を追加しました(下図 赤文字部分)。
- 取り組みの主体をわかりやすく示すためのアイコンを追加しました。
- 上記の変更にともない、ロードマップの表現を整理しました。

素案からの変更は、表現の修正のみで、内容に変更はありません。構想はWebページでご確認ください。



今後のまちづくりの方向性について

協議会としては“堀切らしい”街並みを維持しつつ、まちの活力を損なわずに駅周辺の環境の改善を図るには、街並みを一新してしまうような整備は、望ましくないと考えます。そこで、区に対して以下の3つの考え方を提案します。そして、堀切地区まちづくり構想の合言葉である「誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり」に区と協働して取り組んでまいります。

1. 個々の建替えのタイミングに合わせた建物の耐震化・不燃化
2. 堀切らしさを残した、災害時の避難や緊急車両の通行に必要な路線の重点整備
3. 利便性の向上につながるような、交通環境の改善



【参考】堀切菖蒲園駅 駅前の現状



左写真: 狭く歩きにくい歩道。
中央写真: 駅前にタクシー乗り場がない。
右写真: バスが正着できない。

■各取組のロードマップ

主なまちづくりの取り組み	主体	概ね5年(短期)		概ね5年～10年概(中期)	概ね10年以上(長期)
1 建物の耐震化・不燃化	葛飾区	調査	地区計画策定に向けた検討	地区計画による建て替えルール適用	
2 避難経路の整備 緊急車両の通行改善	葛飾区	拡幅路線検討	権利者等意見交換	測量	密集事業の実施
3 歩行環境改善	葛飾区	関係機関調整・調査			
4 タクシー駐車場の整備	葛飾区、ほりきりん	計画、関係機関との協議			
5 路上駐輪対策	葛飾区、ほりきりん	関係機関との協議			
6 空地の確保と活用	葛飾区、ほりきりん	関係者・関係機関との協議			
7 南北水路の修景整備	葛飾区、ほりきりん	検討			整備
8 駅とまちづくりの連携	ほりきりん	鉄道事業者への要望			
9 ほりきりんの活用	ほりきりん	事業のPR、まちの活性化			
10 橋梁架替事業への協力	ほりきりん	国交省、鉄道事業者との協働			

